

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6552066号
(P6552066)

(45) 発行日 令和1年7月31日(2019.7.31)

(24) 登録日 令和1年7月12日(2019.7.12)

(51) Int. Cl. F 1
A 4 5 D 19/04 (2006.01) A 4 5 D 19/04
A 4 5 D 19/12 (2006.01) A 4 5 D 19/12

請求項の数 5 (全 13 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2017-205707 (P2017-205707)</p> <p>(22) 出願日 平成29年10月25日(2017.10.25)</p> <p>(65) 公開番号 特開2019-76410 (P2019-76410A)</p> <p>(43) 公開日 令和1年5月23日(2019.5.23)</p> <p>審査請求日 平成29年10月25日(2017.10.25)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 598010078 佐藤 克郎 熊本県熊本市東区東本町 1 1 番 1 号</p> <p>(74) 代理人 100080160 弁理士 松尾 憲一郎</p> <p>(74) 代理人 100149205 弁理士 市川 泰央</p> <p>(72) 発明者 佐藤 克郎 熊本県熊本市東区東本町 1 1 - 1</p> <p>審査官 遠藤 邦喜</p>
--	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メインフレームと足載せ部フレームと背もたれ部フレームとポリタンクと器具収納袋と洗髪槽とによって仰向け状態でカット及び洗髪できる形態とし、終了後は折り畳んで持ち運びできる形態とすることができる持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造において、

メインフレームは所定高さの方形枠状に形成し、
 背もたれ部フレームは基端をメインフレームの上側フレーム後端に枢着し、
 脚載せ部フレームの左右フレーム先端は差し込み杆を伸延してメインフレームの左右上方フレーム後端に連結自在に構成し、
 背もたれ部フレームの反対側には背負い用のベルトを装備し、
 背もたれ部フレームの先端には上面開口の略方形箱状に形成し洗髪槽を係合可能に形成した頭部伸延フレームを背もたれ部フレーム先端に差し込み及び取外し自在に連結構成し、

洗髪時に使用する洗髪水を収容するポリタンク上部には給水ポンプとシャワーヘッドを設けた洗髪水ホースを挿通可能な給水穴を形成し、

男性の前かがみ姿勢の洗髪形態とするために、背もたれ部フレームを枢軸を中心に略垂直方向に起立させ背もたれ部フレーム先端のグリップ部自由端を略水平方向に変位させグリップ部自由端に頭部伸延フレームを連結し、頭部伸延フレームに洗髪槽を係合設置するように構成する共に、男性の前かがみ姿勢のためにメインフレーム前方に脚載せ部フ

ムを配置可能に構成した

ことを特徴とする持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造。

【請求項 2】

メインフレームのうち、略 L 字状のベッド係合フレームと、横杵のベッド係合パイプと、後側垂直フレームとにより方形枠空間を形成し、この方形枠空間中にベッドの方形状の側枠の上枠体を嵌入し、しかも、メインフレームをベッドの側枠に支持するためにベッド係合フレームをベッドの側枠の上枠体に載置支持する

ことを特徴とする請求項 1 記載の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造。

【請求項 3】

折畳携行時に、シャワーヘッドと洗髪水ホースと排水ホースとタンク用キャスターと搬送用ハンドルとを収納可能とするためにメインフレームの上方フレーム間に洗髪槽を係合収納自在に構成し、かつ別途設けた器具収納袋の袋フレーム先端を水平に変位させたグリップ部自由端に連結可能に構成して洗髪槽の内部に器具収納袋を垂下収納可能に構成した

ことを特徴とする請求項 1 に記載の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造。

【請求項 4】

メインフレームの後側垂直フレーム中途には、キャスター支持パイプを脱着自在に連結可能とした

ことを特徴とする請求項 2 に記載の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造。

【請求項 5】

上記した各フレームは丸パイプで構成し、各フレームの連結はパイプの嵌入嵌着により行うことができるように構成した

ことを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、介護施設や療養施設等には美容室まで外出して理美容を受けることができない者のために理美容師が施設に出張して理美容を行うようなことがある。そこで、出願人は、出張理美容を行う目的のために理美容椅子装置を考案した（特許文献 1 参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】 実用新案登録第 3074081 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、この理美容椅子装置は、着座可能な車椅子フレームにリクライニング式の背もたれ部を備えた構造であるものの、理髪その他、洗髪を行う際には別途洗髪槽を台上に載置して利用する必要があった。また、同装置は、移動用の車輪があるものの、折り畳んで持ち運べるような構造ではなかった。

【0005】

上述した課題を解決するために、本発明は、リクライニング式の背もたれ部や洗髪のためのシャワーヘッドや給排水構造や洗髪槽を備えると共に持ち運びに適した折畳み式の構造とした持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0006】

請求項 1 に記載の発明は、メインフレームと足載せ部フレームと背もたれ部フレームと

10

20

30

40

50

ポリタンクと器具収納袋と洗髪槽とによって仰向け状態でカット及び洗髪できる形態とし、終了後は折り畳んで持ち運びできる形態とすることができる持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造において、メインフレームは所定高さの方形枠状に形成し、背もたれ部フレームは基端をメインフレームの上側フレーム後端に枢着し、脚載せ部フレームの左右フレーム先端は差し込み杆を伸延してメインフレームの左右上方フレーム後端に連結自在に構成し、背もたれ部フレームの反対側には背負い用のベルトを装備し、背もたれ部フレームの先端には上面開口の略方形箱状に形成し洗髪槽を係合可能に形成した頭部伸延フレームを背もたれ部フレーム先端に差し込み及び取外し自在に連結構成し、洗髪時に使用する洗髪水を収容するポリタンク上部には給水ポンプとシャワーヘッドを設けた洗髪水ホースを挿通可能な給水穴を形成したことを特徴とする持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造とした。

【0007】

また、男性の前かがみ姿勢の洗髪形態とするために、背もたれ部フレームを枢軸を中心に略垂直方向に起立させ背もたれ部フレーム先端のグリップ部自由端を略水平方向に変位させグリップ部自由端に頭部伸延フレームを連結し、頭部伸延フレームに洗髪槽を係合設置するように構成する共に、男性の前かがみ姿勢のためにメインフレーム前方に脚載せ部フレームを配置可能に構成したことを特徴とする。

【0008】

請求項2に記載の発明は、メインフレームのうち、略L字状のベッド係合フレームと、横杆のベッド係合パイプと、後側垂直フレームとにより方形枠空間を形成し、この方形枠空間中にベッドの方形状の側枠の上枠体を嵌入し、しかも、メインフレームをベッドの側枠に支持するためにベッド係合フレームをベッドの側枠の上枠体に載置支持することを特徴とする。

【0009】

請求項3記載の発明は、折畳携行時に、シャワーヘッドと洗髪水ホースと排水ホースとタンク用キャスターと搬送用ハンドルとを収納可能とするためにメインフレームの上方フレーム間に洗髪槽を係合収納自在に構成し、かつ別途設けた器具収納袋の袋フレーム先端を水平に変位させたグリップ部自由端に連結可能に構成して洗髪槽の内部に器具収納袋を垂下収納可能に構成したことを特徴とする。

【0010】

請求項4に記載の発明は、メインフレームの後側垂直フレーム中途には、キャスター支持パイプを脱着自在に連結可能としたことを特徴とする。

【0011】

請求項5に記載の発明は、上記した各フレームは丸パイプで構成し、各フレームの連結はパイプの嵌入嵌着により行うことができるように構成したことを特徴とする。

【発明の効果】

【0012】

請求項1の発明によれば、メインフレームと足載せ部フレームと背もたれ部フレームとポリタンクと器具収納袋と洗髪槽とによって仰向け状態でカット及び洗髪できる形態とし、終了後は折り畳んで持ち運びできる形態とすることができる持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造において、メインフレームは所定高さの方形枠状に形成し、背もたれ部フレームは基端をメインフレームの上側フレーム後端に枢着し、脚載せ部フレームはメインフレームの後端に取り外し自在に連結構成し、背もたれ部フレームの反対側には背負い用のベルトを装備し、背もたれ部フレームの先端には上面開口の略方形箱状に形成し洗髪槽を係合可能に形成した頭部伸延フレームを背もたれ部フレーム先端に差し込み及び取外し自在に連結構成し、洗髪時に使用する洗髪水を収容するポリタンク上部には給水ポンプとシャワーヘッドを設けた洗髪水ホースを挿通可能な給水穴を形成したので、持ち運び形態から仰向け形態へと各フレームの構成を変更することができる。仰向け形態は、脚載せ部フレームの左右フレーム先端の差し込み杆をメインフレームの左右上方フレーム後端に連結し、メインフレームの上側フレーム後端に枢着した背もたれ部フレームを倒して、頭部

伸延フレームに洗髪槽を係合することにより構成することができる。仰向け形態へ各フレームを変更することによりポリタンクの洗髪水を使用しての仰向け状態で洗髪を行うことができる。洗髪が完了したのちは持ち運び形態に各フレームを変更することにより背もたれ部フレームの裏側には背負い用のベルトに腕を通し、背負って在宅美容施術個所に持ち運ぶことが可能となる効果がある。

【0013】

また、男性の前かがみ姿勢の洗髪形態とするために、背もたれ部フレームを枢軸を中心に略垂直方向に起立させ背もたれ部フレーム先端のグリップ部自由端を略水平方向に変位させグリップ部自由端に頭部伸延フレームを連結し、頭部伸延フレームに洗髪槽を係合設置するように構成する共に、男性の前かがみ姿勢のためにメインフレーム前方に脚載せ部フレームを配置可能に構成したので、脚載せ部フレームに着座した男性が前かがみ姿勢の状態に頭部伸延フレームに係合設置した洗髪槽に頭部をたれて洗髪を行うことができる。

【0014】

請求項2の発明によれば、メインフレームのうち、略L字状のベッド係合フレームと、横杵のベッド係合パイプと、後側垂直フレームとにより方形枠空間を形成し、この方形枠空間中にベッドの方形状の側枠の上枠体を嵌入し、しかも、メインフレームをベッドの側枠に支持するためにベッド係合フレームをベッドの側枠の上枠体に載置支持するので、メインフレームのL字状のベッド係合フレームをベッドの側枠に係合し、ベッド係合パイプで閉じることによりベッドへの固定形態を可能とする効果がある。

【0015】

請求項3の発明によれば、折畳携行時に、シャワーヘッドと洗髪水ホースと排水ホースとタンク用キャスターと搬送用ハンドルとを収納可能とするためにメインフレームの上方フレーム間に洗髪槽を係合収納自在に構成し、かつ別途設けた器具収納袋の袋フレーム先端を水平に変位させたグリップ部自由端に連結可能に構成して洗髪槽の内部に器具収納袋を垂下収納可能に構成したので、メインフレームの上方フレーム間に洗髪槽を係合収納し、器具収納袋の袋フレーム先端をグリップ部自由端にれんけつして洗髪槽の内部に器具収納袋を垂下収納することにより折畳み略方形折畳み状態として在宅美容施術個所に持ち運ぶことが可能となる。

【0016】

請求項4の発明によれば、メインフレームの後側垂直フレーム中途には、キャスター支持パイプを脱着自在に連結可能としたので、キャスター支持パイプをメインフレームより外して、ベッドへの固定形態に変化して、仰向け洗髪を行うことができる。

【0017】

請求項5の発明によれば、上記した各フレームは丸パイプで構成し、各フレームの連結はパイプの嵌入嵌着により行うことができるように構成したので、メインフレームと脚載せ部フレーム又は背もたれ部フレームと頭部伸延フレーム等の嵌入嵌着により仰向け洗髪形態や男性洗髪形態や折畳携行の形態等への変更を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【0018】

【図1】本発明の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造の持ち運び形態を示す斜視図。

【図2】本発明の各美容器具を取り外した形態を示す説明図。

【図3】(a)メインフレーム及び背もたれ部フレームを示す正面図、(b)メインフレーム及び背もたれ部フレームを示す背面図。

【図4】(a)メインフレームと脚載せ部フレームの連結前の状態を示す側面図、(b)メインフレームと脚載せ部フレームの連結状態を示す側面図。

【図5】洗髪槽を示す斜視図。

【図6】シャワーヘッドからポリタンク間の給水及び排水の流れを示す側面図、

【図7】本発明の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造の仰向け洗髪形態を示す側面図、

10

20

30

40

50

【図 8】本発明の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造の男性洗髪形態を示す側面図。

【図 9】本発明の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造のベッドへの固定形態を示す側面図。

【図 9 a】本発明の持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造のベッドへの固定形態の変形例を示す側面図。

【発明を実施するための最良の形態】

【0019】

この発明は、メインフレームと足載せフレームと背もたれ部フレームとによって仰向け状態でカット及び洗髪形態とし、終了後は折り畳んで持ち運びできる形態とすることができる持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造において、メインフレームは所定高さの方形枠状とし、背もたれ部フレームは基端をメインフレームの上側フレーム後端に枢着し、脚載せ部フレームはメインフレームの後端に取り外し自在に連結構成し、脚載せ部フレームの左右フレーム先端は差し込み杆を伸延してメインフレームの左右上方フレーム後端に連結自在に構成し、背もたれ部フレームの裏側には背負い用のベルトを装備し、背もたれ部フレームの先端には上面開口の略方形箱状に形成し洗髪槽を係合可能に形成した頭部伸延フレームを背もたれ部フレーム先端に差し込み及び取外し自在に連結構成し、洗髪時に使用する洗髪水収容のポリタンク上部には給水ポンプとシャワーヘッドを設けた洗髪水ホースを挿通可能な給水穴を形成したことを特徴とする。

【0020】

また、男性の洗髪形態とするために、背もたれ部フレームを枢軸を中心に略垂直方向に起立させ背もたれ部フレーム先端のグリップ部自由端を略水平方向に変位させグリップ部自由端に頭部伸延フレームを連結し、頭部伸延フレームに洗髪槽を係合設置するように構成する共に、男性の洗髪着座のためにメインフレーム前方に脚載せ部フレームを配置可能に構成したことを特徴とする。

【0021】

また、メインフレームをベッドの側枠に固定しベッド上でリクライニング形態に変更して使用できるように、メインフレームの後側フレームとメインフレームの下側フレーム後端部との間にはL字状のベッド係合フレームを架設し、キャスター支持パイプとL字状のベッド係合フレームとの間にL字状のベッド係合パイプからなる方形枠空間を形成したことを特徴とする。

【0022】

また、折畳携行時に折畳みフレームを収納可能とするためにメインフレームの上方フレーム間に洗髪槽を係合収納自在に構成し、かつ別途設けた器具収納袋の袋フレーム先端を水平に変位させたグリップ部自由端に連結可能に構成して洗髪槽の内部に器具収納袋を垂下収納可能に構成したことを特徴とする。

【0023】

また、メインフレームの後側垂直フレーム中途には、キャスター支持パイプを脱着自在に連結可能としたことを特徴とする。

【0024】

また、上記した各フレームは丸パイプで構成し、各フレームの連結はパイプの嵌り嵌着により行うことができるように構成したことを特徴とする。

【0025】

本発明に係る持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造の実施形態について、以下、図面を参照しながら説明する。

【0026】

本持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造Kは、メインフレームAと足載せ部フレームBと背もたれ部フレームCとによって仰向け状態でカット及び洗髪形態（図7参照）とし、終了後は折り畳んで持ち運び形態にできる構造（図1参照）としている。

【0027】

10

20

30

40

50

すなわち、持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造 K は以下のように構成している。

図 2 及び図 3 に示すように、メインフレーム A は、所定高さの方形枠状とし、左右上側フレーム 10, 10 を平行な前後の上側水平フレーム 11, 11 で連結し、さらに左右上側フレーム 10, 10 の後方の中途部より左右後側垂直フレーム 12, 12 を下方に向かって延伸し、左右後側垂直フレーム 12, 12 の端部には左右のキャスター 13 a, 13 a を軸支し連結したキャスター支持パイプ 13 のステー 13 b, 13 b を着脱自在に連結し(図 3 (b) 参照)、左右上側フレーム 10, 10 前側の垂直部 10 a の下部同士を下側水平フレーム 14 で連結し(図 3 (a) 参照)、メインフレーム A の左右後側垂直フレーム 12, 12 と左右下側フレーム 15, 15 後端部との間には L 字状のベッド係合フレーム 16, 16 を架設し(図 2 参照)、キャスター支持パイプ 13 と L 字状のベッド係合フレーム 16, 16 との間に L 字状のベッド係合パイプ 17, 17 からなる方形枠空間を形成した構成としている。図 2 中符号 10 c は左右上側フレーム 10 の垂直部 10 a, 10 a に収納した脚部伸延フレーム 10 b, 10 b を固定するための脚部伸延フレーム固定部である。

【0028】

図 1 及び図 2 に示すように、メインフレーム A の上側の方形空間には、洗髪槽 F を収納自在としている。

図 5 に示すように、洗髪槽 F は、上面開口の略方形箱状に形成し、洗髪槽 F の両側面には頭部伸延フレーム D と係合するための傾斜段部 F 1 を形成すると共に、手前壁には首載せ用の凹部 F 2 を形成する構成としている。

また、洗髪槽 F は、略方形箱状の洗髪槽内部の深さは手前側を深く先方側(頭部側)を浅くなるように内底面を傾斜することにより、洗髪使用時に上方開口部は先方側下り傾斜となる分、内底面が水平となって洗髪水の排水が行いやすくしている。図中符号 F 3 は排水穴である。

【0029】

図 2 及び図 3 に示すように、背もたれ部フレーム C は基端をメインフレーム A の上側フレーム 10 後端に枢着している。背もたれ部フレーム C は左右の垂直フレーム 20, 20 間を水平フレーム 21 及び脚載せ部フレーム B を収納する脚載せ布体 G を係止する門型収納フレーム 22 で連結し、さらに、左右垂直フレーム 20, 20 の基部とメインフレーム A の上側フレーム 10 後端とを枢着し、メインフレーム A の上側フレーム 10, 10 中途部と背もたれ部フレーム C の左右垂直フレーム 20, 20 の中途部との間に伸縮シリンダ 23, 23 を介設し、左右垂直フレーム 20, 20 先端にグリップ部 24 を略直角向きに突設すると共に、コ字状の頭部伸延フレーム D を差し込み及び取外し自在な構成としている。図 2 中符号 28 は背もたれ部フレーム C の左右垂直フレーム 20 に収納した頭部伸延フレーム D を固定するための頭部伸延フレーム固定部である。符号 29 は背もたれ部フレーム C の基端とメインフレーム A の上側フレーム 10 後端とを枢着している枢支部である。

【0030】

背もたれ部フレーム C は、左右フレーム 20, 20 間に背もたれ布 27 (図 3 参照) を架設しており、特に背が丸くなった老人の背もたれに適合するように背もたれ布を弛緩自在としている。

背もたれ部フレーム C の裏側には、背負い用のベルト E, E を装備しており(図 1 参照)、持ち運ぶ際には、同ベルト E, E に両腕を通して担ぎ持ち運ぶことができる。

【0031】

図 4 に示すように、脚載せ部フレーム B はメインフレーム A の後端に取り外し自在に連結構成し、脚載せ部フレーム B の左右フレーム B 1, B 1 先端は差し込み杆 B 2, B 2 を伸延してメインフレーム A の左右上方フレーム 10, 10 後端に連結自在に構成している。

【0032】

10

20

30

40

50

図 2 に示すように、背もたれ部フレーム C のグリップ部 2 4 , 2 4 の自由端には、コ字状袋フレーム 2 6 に垂設した上部開口の方形状の器具収納袋 H を連結可能としている。器具収納袋 H には、ポリタンク I やシャワーヘッド 3 0 や洗髪水ホース 3 1 や排水ホース 3 2 等を収納することができる。

【 0 0 3 3 】

図 6 に示すように、ポリタンク I は、洗髪に使用する洗髪水を貯水すると共に洗髪後の排水を貯留することが可能である。ポリタンク I の下部にはキャスター 3 3 , 3 3 を設け、ポリタンク I の上部には搬送用ハンドル 3 4 を設けており、搬送用ハンドル 3 4 は引っ張り方向に応じて角度調整可能な複数の連結機構で構成している。

【 0 0 3 4 】

また、ポリタンク I の上部には給水穴 3 5 と排水穴 3 6 とを形成している。給水穴 3 5 には給水ポンプ 3 7 とシャワーヘッド 3 0 を設けた洗髪水ホース 3 1 を挿通している。

さらに、給水穴 3 5 には着脱自在の蓋体 3 8 を設けており、蓋体 3 8 に給水ポンプ 3 7 等の器具を固定している。

【 0 0 3 5 】

排水穴 3 6 には洗髪槽 F の底面に連通した排水ホース 3 2 を挿通している。排水ホース 3 2 の一端はポリタンク I 内で排水貯留袋 3 9 に連通してポリタンク I 内で洗髪水を貯留可能としている。

なお、ポリタンク I の外に別途洗髪水貯留のための貯留ケースを設けておくことも可能である。

【 0 0 3 6 】

また、上述したメインフレーム A , 脚載せ部フレーム B , 背もたれ部フレーム C , 頭部伸延フレーム D 等の各フレームは丸パイプで構成しており、各フレームの連結はパイプの嵌入嵌着により行うことができる。

【 0 0 3 7 】

[仰向けの洗髪形態]

図 2、図 4 及び図 7 を参照しながら仰向けの洗髪形態について説明する。

図 2 に示すように、同在宅用美容器具構造 K は、背もたれ部フレーム C を枢支部 2 9 の枢軸を中心に垂直に起立しており、同背もたれ部フレーム C より器具収納袋 H や脚載せ部フレーム B を取り外し、さらに、メインフレーム A より洗髪槽 F を取り外す。

【 0 0 3 8 】

図 4 に示すように、脚載せ部フレーム B は、その左右フレーム B 1 , B 1 先端の差し込み杆 B 2 , B 2 をメインフレーム A の左右上方フレーム 1 0 , 1 0 後端に連結する。

【 0 0 3 9 】

図 7 に示すように、背もたれ部フレーム C の先端の頭部伸延フレーム D を引っ張りその方形状の空間に洗髪槽 F を係合する。洗髪槽 F の排水穴 F 3 とポリタンク I の排水穴 3 6 とは排水ホース 3 2 を介して連通連結する。さらに、ポリタンク I の給水穴 3 5 とシャワーヘッド 3 0 とは洗髪水ホース 3 1 を介して連通連結する。

【 0 0 4 0 】

背もたれ部フレーム C をリクライニング形態に変更するには、グリップ部 2 4 , 2 4 の操作ハンドル 2 5 , 2 5 を操作し、操作ワイヤ 2 5 a を介して連動連設している伸縮シリンダ 2 3 , 2 3 を伸縮作動することにより背もたれ部フレーム C を傾倒する。操作ハンドル 2 5 と伸縮シリンダ中途の伸縮固定機構部 (図示しない) とは操作ワイヤ 2 5 a を介して連動連設しており、操作ハンドル 2 5 の中途にはシリンダケース内のピストンロッドの伸縮作動を固定する伸縮固定機構部を設けており、この伸縮固定機構部を作動することにより背もたれ部フレーム C の傾倒角度を固定することが可能である。

【 0 0 4 1 】

脚載せ部フレーム B と背もたれ部フレーム C の上面には、それぞれマット M , M を載置し、その後頭部が洗髪槽 F の凹部 F 2 に位置するように仰向け状態とする。ポリタンク I の洗髪水を給水ポンプ 3 7 により吸上げてシャワーヘッド 3 0 より噴射して洗髪を行うこ

10

20

30

40

50

とができる。その後、洗髪水は洗髪槽 F の排水穴 F 3 より排出し排水ホース 3 2 を介して排水貯留袋 3 9 に貯留される。

【 0 0 4 2 】

[男性 (前かがみ姿勢) の洗髪形態]

図 2、及び図 8 を参照しながら前かがみ姿勢の洗髪形態について説明する。

同在宅用美容器具構造 K は、背もたれ部フレーム C を枢軸を中心に垂直に起立しており、同背もたれ部フレーム C より器具収納袋 H や脚載せ部フレーム B を取り外し、さらに、メインフレーム A より洗髪槽 F を取り外す。

【 0 0 4 3 】

図 2 に示すように、脚載せ部フレーム B は、メインフレーム A 前方に配置する。頭部伸延フレーム D を背もたれ部フレーム C から取外し、背もたれ部フレーム C 先端のグリップ部 2 4 自由端に頭部伸延フレーム D を連結しなおし、この頭部伸延フレーム D に洗髪槽 F を係合設置する。仰向け洗髪形態と同様に、洗髪槽 F の排水穴 F 3 とポリタンク I の排水穴 3 6 とは排水ホース 3 2 を介して連通連結する。さらに、ポリタンク I の給水穴 3 5 とシャワーヘッド 3 0 とは洗髪水ホース 3 1 を介して連通連結する。

【 0 0 4 4 】

図 8 に示すように、背もたれ部フレーム C を傾倒するには、グリップ部 2 4、2 4 の操作ハンドル 2 5、2 5 を操作し、操作ワイヤ 2 5 a を介して連動連設している伸縮シリンダ 2 3、2 3 を伸縮作動することにより背もたれ部フレーム C を傾倒する。その後、上述と同様に伸縮固定機構部を作動することにより背もたれ部フレーム C の傾倒角度を固定する。

【 0 0 4 5 】

かかる構成とすることにより、メインフレーム A 前方に脚載せ部フレーム B を配置することにより、前かがみ姿勢である男性の洗髪形態とすることができる。

すなわち、脚載せ部フレーム B に着座して前かがみになり頭部の洗髪部を洗髪槽 F 内に位置させて利用形態の前かがみ姿勢の洗髪を可能とする。

【 0 0 4 6 】

[ベッドへの固定形態]

図 2 及び図 9 を参照しながらベッドへの固定形態について説明する。

上述の仰向け洗髪形態と同様の手順を行う。

図 2 に示すように、同在宅用美容器具構造 K は、背もたれ部フレーム C を枢軸を中心に垂直に起立しており、同背もたれ部フレーム C より器具収納袋 H や脚載せ部フレーム B を取り外し、さらに、メインフレーム A より洗髪槽 F を取り外す。

【 0 0 4 7 】

メインフレーム A の後側垂直フレーム 1 2、1 2 中途に連結したキャスター支持パイプ 1 3 を取り外す。図 9 中の符号 1 8 はメインフレーム A の後側垂直フレーム 2 0、2 0 中途に連結したキャスター支持パイプ 1 3 を固定するためのキャスター脚付けナットである。

【 0 0 4 8 】

図 9 に示すように、脚載せ部フレーム B は、その左右フレーム B 1、B 1 先端の差し込み杆 B 2、B 2 をメインフレーム A の左右上方フレーム 1 0、1 0 後端に連結する。

【 0 0 4 9 】

メインフレーム A 及び脚載せ部フレーム B からなる仰向けのフレーム構成をベッド N 上に載置する。メインフレーム A のうち、略 L 字状のベッド係合フレーム 1 6 と、横杆のベッド係合パイプ 1 7 と、後側垂直フレーム 1 2 とにより方形枠空間 S を形成し、この方形枠空間 S 中にベッド N の方形状の側枠 N 1 の上枠体を嵌入し、しかも、メインフレーム A をベッド N の側枠 N 1 に支持するためにベッド係合フレーム 1 6 をベッド N の側枠 N 1 の上枠体に載置支持する。

なお、図 9 a は仰向けのフレーム構成のうちメインフレーム A がベッド N 上に載置されている状態の一部の説明図である。

10

20

30

40

50

【 0 0 5 0 】

〔 折畳み持ち運び自在な形態 〕

同在宅用美容器具構造 K を仰向け洗髪形態或いは男性（前かがみ姿勢）の洗髪形態から折畳み持ち運び自在な形態に変更することができる。

【 0 0 5 1 】

図 2 に示すように、背もたれ部フレーム C を枢支部 2 9 の枢軸を中心に垂直に起立させる。メインフレーム A に洗髪槽 F を取り付ける。同背もたれ部フレーム C のグリップ部 2 4 , 2 4 の自由端には、器具収納袋 H のコ字状袋フレーム 2 6 を連結し、洗髪槽 F の内部には、器具収納袋 H を垂下収納する。最後に背もたれ部フレーム C の脚載せ布体 G の袋状開口部から先端に脚載せ部フレーム B を収納する。

10

【 0 0 5 2 】

図 1 に示すように、上記器具収納袋 H にシャワーヘッドや洗髪水ホースや排水ホースやタンク用キャスターや搬送用ハンドル等よりなる美容施術に必要な器具を内部収納可能に機能させ、しかも各フレームの前記機能によって折畳み略方形折畳み状態として背もたれ部フレーム C 反対側の背負い用ベルト E , E に両腕を通し、背負って在宅美容施術個所に持ち運び可能としている。

かかる折畳み構成とすることによりメインフレーム A 及び連結自在のその他のフレーム並びに付属部品を一体ユニットの方形収納状態として背負うことが可能となる。

【 0 0 5 3 】

以上、本発明の実施の形態のいくつかを図面に基づいて詳細に説明したが、これらは例示であり、発明の開示の欄に記載の態様を始めとして、当業者の知識に基づいて種々の変形、改良を施した他の形態で本発明を実施することが可能である。

20

【 符号の説明 】

【 0 0 5 4 】

K 持ち運び自在な折畳み式在宅用美容器具構造
 A メインフレーム
 B 脚載せ部フレーム
 B 1 左右フレーム
 B 2 差し込み杆

30

C 背もたれ部フレーム
 D 頭部伸延フレーム
 E 背負い用のベルト
 F 洗髪槽
 G 脚載せ布体
 H 器具収納袋
 I ポリタンク
 M , M ' マット
 N ベッド
 N 1 側枠
 N 2 側枠挿入孔
 S 方形枠空間

40

1 0 上側フレーム
 1 1 上側水平フレーム
 1 2 後側垂直フレーム
 1 3 キャスター支持パイプ
 1 4 下側水平フレーム
 1 5 下側フレーム
 1 6 ベッド係合フレーム

50

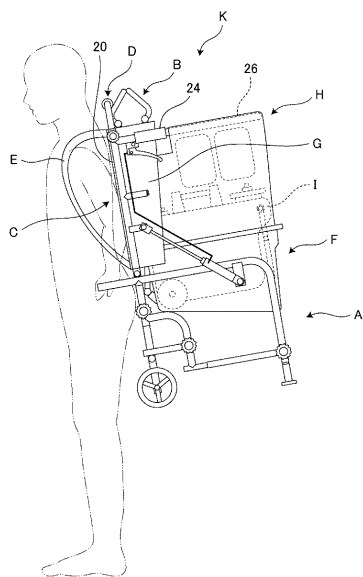
- 17 ベッド係合パイプ
- 18 キャスター脚付けナット
- 20 垂直フレーム
- 21 水平フレーム
- 22 門型収納フレーム
- 23 伸縮シリンダ
- 24 グリップ部
- 25 操作ハンドル
- 25 a 操作ワイヤ
- 26 コ字状袋フレーム
- 27 背もたれ布
- 28 頭部伸延フレーム固定部
- 29 枢支部

10

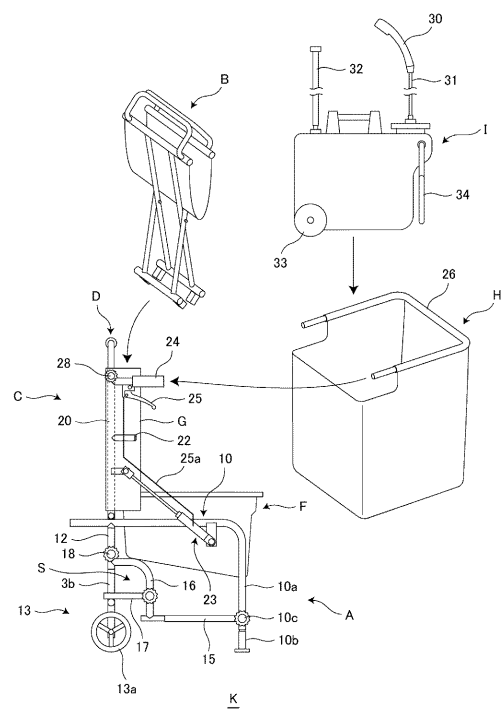
- 30 シャワーヘッド
- 31 洗髪水ホース
- 32 排水ホース
- 33 タンク用キャスター
- 34 搬送用ハンドル
- 35 給水穴
- 36 排水穴
- 37 給水ポンプ
- 38 蓋体
- 39 排水貯留袋

20

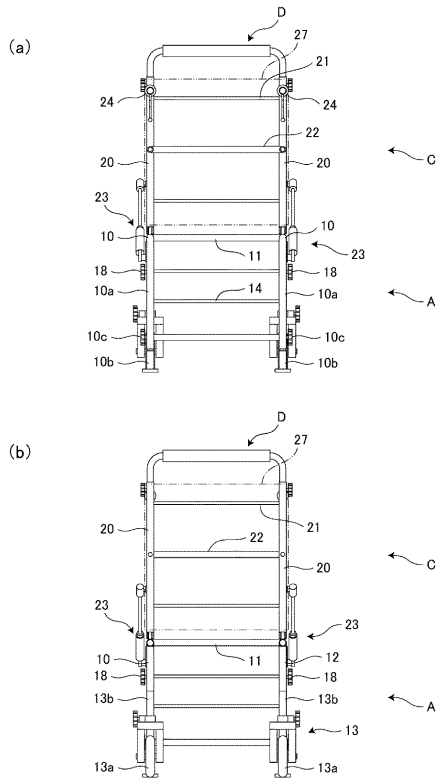
【図1】



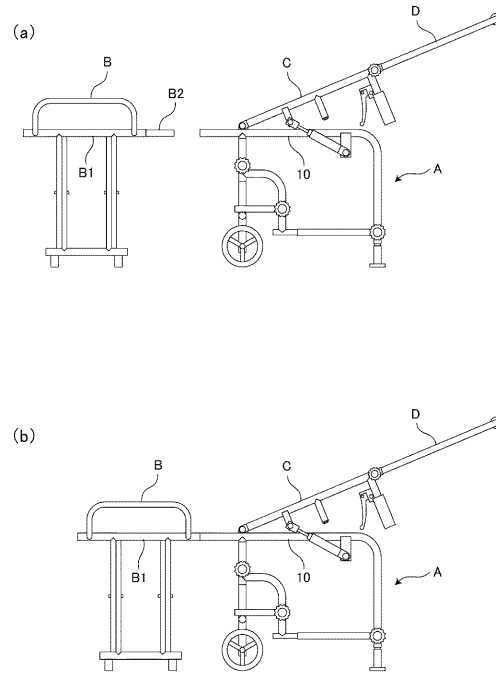
【図2】



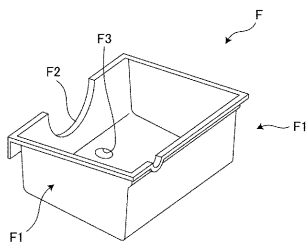
【 図 3 】



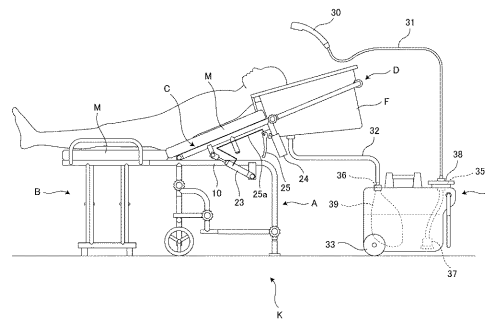
【 図 4 】



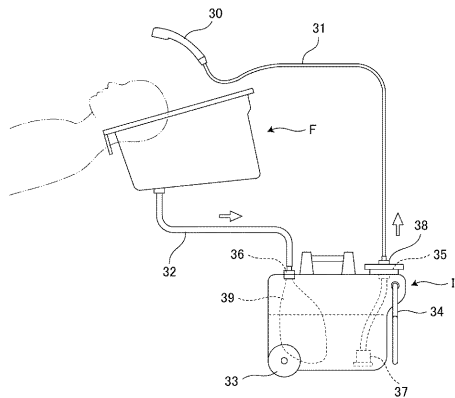
【 図 5 】



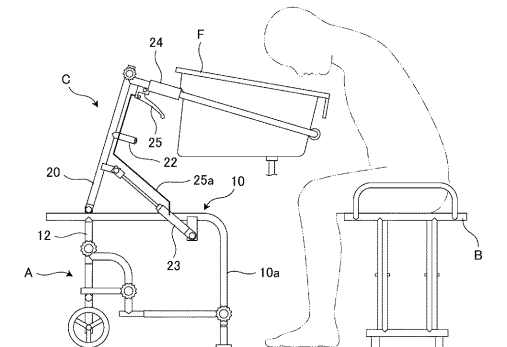
【 図 7 】



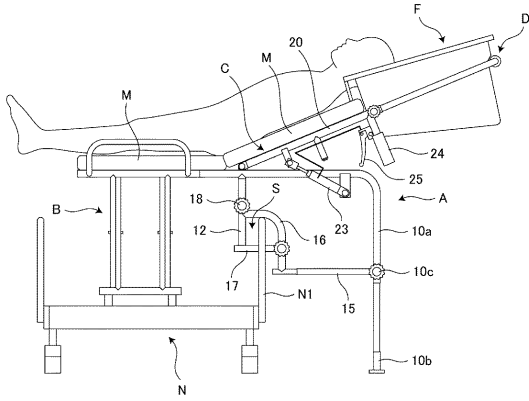
【 図 6 】



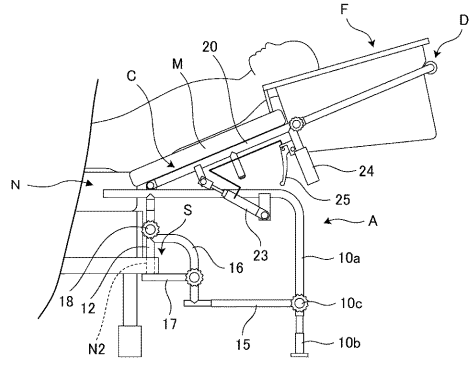
【 図 8 】



【図 9】



【図 9 a】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2002-233556(JP,A)
特開平11-221251(JP,A)
実開昭58-009130(JP,U)
実開平08-001050(JP,U)
登録実用新案第3179607(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A45D 19/04

A45D 19/12